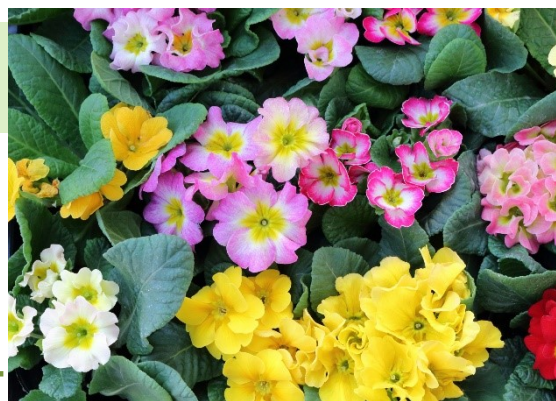


プリムラ・ジュリアン



■プリムラ・ジュリアンのプロフィール

学名 : *Primula julian*

科名 : サクラソウ科

分類 : 一年草

原産地 : 日本

プリムラ・ジュリアンはサクラソウ科サクラソウ属の多年草で、園芸品種です。ヨーロッパを原産とするプリムラ・ポリアンサとプリムラ・ジュリエを交配させて、日本の種苗会社から1972年に発売されました。

草丈は10~20cmほどと小型ですが、見ごたえのある花が咲きます。花びらに桜のように、浅い切れ込みが入っていることが特徴です。花色のバリエーションが大変豊富で、ポピュラーな一重咲のほかに、八重、バラ咲など咲き方も様々あります。

寒さに強く、育てやすいのも人気の秘訣、真夏に木陰になる場所で育てると、翌年に花を咲かせることもあります。近年は夏の暑さで衰弱したり、枯れてしまうことも多く、一年草として扱っています。

■プリムラ・ジュリアンの育て方

●タネまき

プリムラ・ジュリアンは、タネまきで殖やすことができます。タネまきの適期は6月から7月です。赤玉土小粒とバーミキュライトの等量配合土など、水はけと水もちがよい用土に、タネが重ならないようにまきます。発芽には光が必要なので、タネをまいた上に土をかぶせないようにします。土が乾かないように、容器の底から水を吸わせるようにして水やりをして管理します。9月ごろに、本葉が2~3枚になったら、育苗ポットに植え替え、肥料を与えながら育て、本葉が4~5枚になったときに鉢や地面に植え替えます。

●苗からの育て方

秋に苗を購入した場合、10~11月が苗植えにはおすすめです。鉢植えは、苗よりも1回り大きな鉢を準備し、根に付いた土を崩さず、株の周りに土を入れ込むようにして植えていきます。地植えは、日当たりのよい場所を選び、株同士の間隔を20cmほどあけて、苗よりも1回り大きな植え穴を掘ります。そして、根の土は崩さず、植えていきましょう。

●育て方のポイント

プリムラ・ジュリアンは、日当たりを好みます。光が足りないと、花がつかなくなったり葉が黄色くなったりします。プリムラ・ジュリアンは開花中の水切れには弱いので、しおれるほど乾かさないように注意しましょう。ただし、水が多すぎると根腐れしやすいので、鉢の表面が乾いたら鉢底から流れ出るまでたっぷりを目安に水やりをしましょう。

また、プリムラ・ジュリアンの葉と花の付き方から、水やりの水が、花や下葉にたまりやすいので、できるだけ、水やりをするときは、株の上から掛けずに土に水をかけることを意識してあげましょう。

真夏に日陰になり、冬は葉が落ちて日当たりのよい落葉樹の下に植えると、環境になじんで数年間毎年花を楽しむことができる場合もあります。植える場所を考えて、長く楽しめるように工夫してみましょう。

